

# 見直しの主な視点

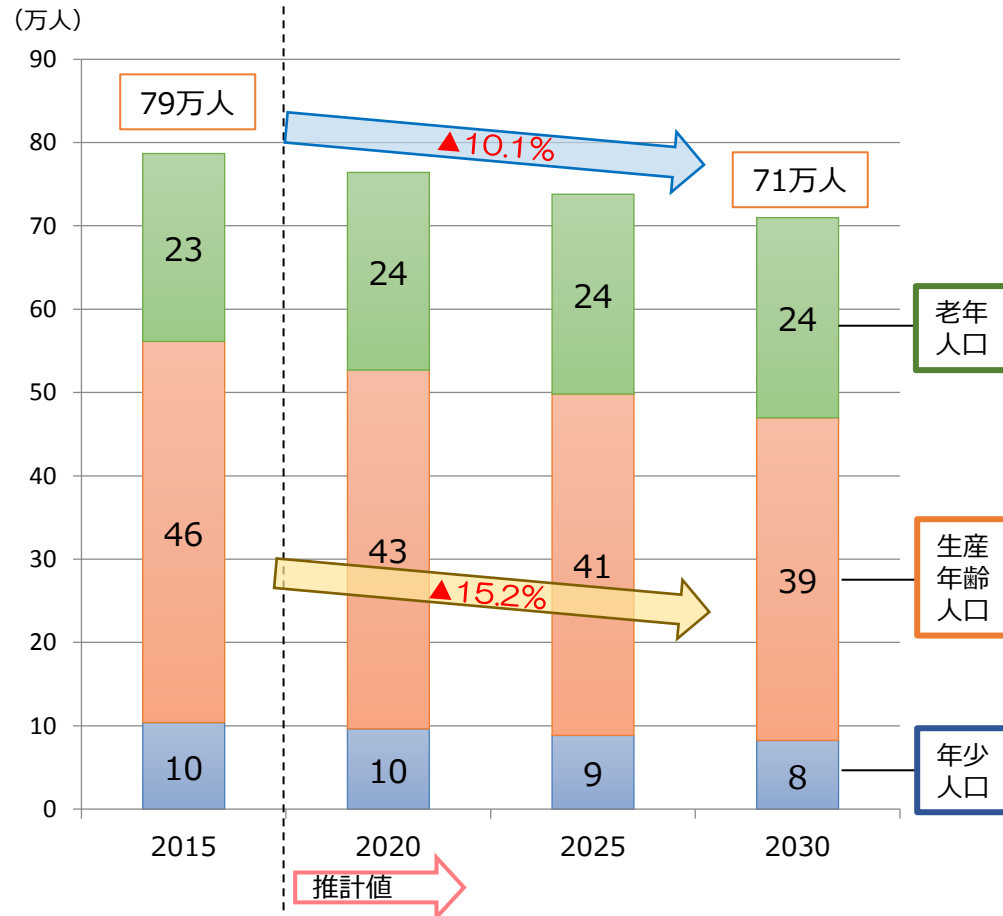
# 1. 福井経済新戦略 見直しの背景・考え方

- 人口減少や高齢化により県内における経済活動の縮小が懸念される中、新戦略の基本理念である「本県産業の持続的発展」を推し進めるため、社会・経済環境の変化に応じた戦略の改定を行います。
- 世界的なA IやI o T等の新技術の急速な普及、北陸新幹線の県内延伸に加え、人口減少、高齢化も含め、本県にとってビジネスチャンスとなる動きを掴み、地域の経済活動の活性化に繋がります。
- これからは、労働者一人ひとりが生み出す付加価値を引き上げることが必要であり、このためには従来の産業の生産性向上に加え、新しいビジネスの創出や海外からの需要の取り込みが必要となります。
- このため、企業と人材が育ち集まってくる魅力的な県であることが重要であり、県民一人ひとりの豊かさ、教育先進県であり優れた人材を輩出する地域性、多くの技術が内包される産業の多様性や産地内の結びつきなどに代表される「福井らしさ」を大切にしながら取り組んでまいります。

## 2. 改定の背景：近年の環境変化 ① 人口減少の影響

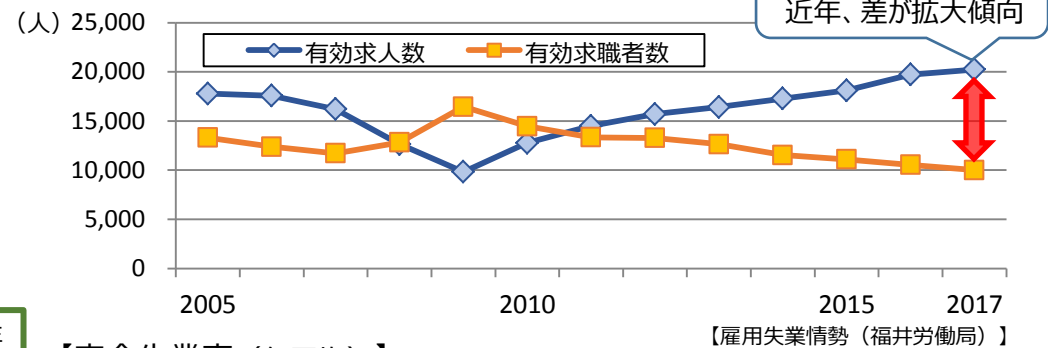
- 2015～2030年の間に県の人口は全国平均(▲6.3%)を上回る▲10.1%減少、特に生産年齢人口は約7万人減少予測。
- 有効求人倍率は高水準で推移しており、特に求職者数は過去最低。既に女性や高齢者の労働参加率が高い。
- 現状の傾向が続けば、労働者が不足し、成長の制約となる可能性がある。

【人口の推移と見通し】

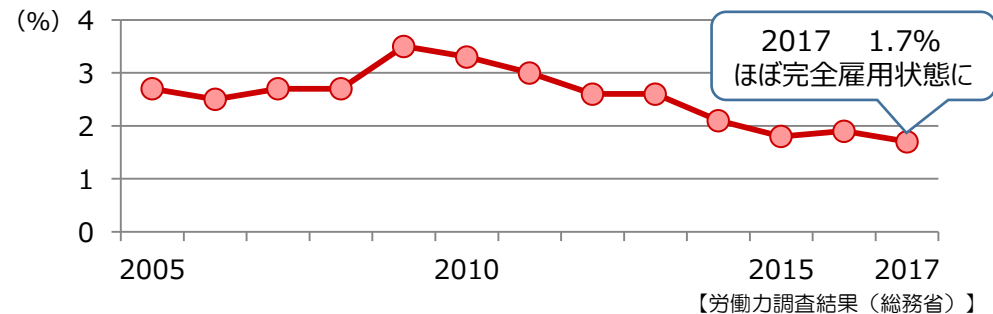


【国勢調査(総務省)、日本の地域別将来推計人口(国立社会保障・人口問題研究所)】

【求人・求職の動向】



【完全失業率(年平均)】



【共働き率、高齢者就業率】

|        | 全国平均  | 福井県               | 東京都        |
|--------|-------|-------------------|------------|
| 共働き率   | 47.6% | <b>58.7% (1位)</b> | 47.8%(32位) |
| 高齢者就業率 | 22.3% | <b>25.5% (4位)</b> | 24.7% (6位) |

【国勢調査2015(総務省)】 2

## 2. 改定の背景：近年の環境変化 ② A I、I o Tの社会への浸透

- AI、IoTの進展により就業構造が変化し、定型的業務が中心の職種の就業者は減少する一方、付加価値の創出に係る技術・研究職等の就業者は増加することが見込まれる。
- AI、IoTの活用は省人化と新たなビジネスの創造につながる反面、今後、AI、IoTに仕事を代替された就業者と、企業が求める人材との間で、雇用のミスマッチが拡大する可能性がある。

< A I、I o tの進展（第4次産業革命）による「仕事の内容」の変化 >（経済産業省「新産業構造ビジョン」（2017年））

| 代替可能性が高く今後減る仕事   | 代替可能性が低く今後増える仕事  |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・製造・調達<br/>〔製造ラインの工員、企業の調達管理部門等〕</li> <li>・営業・販売（低付加価値）<br/>〔低額・定型の保険商品の販売員、スーパーのレジ係等〕</li> <li>・サービス（低付加価値）<br/>〔大衆飲食店の店員、コールセンター、倉庫作業員等〕</li> <li>・バックオフィス<br/>〔経理、給与管理等の人事部門、データ入力係等〕</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・上流工程（経営企画・商品企画・マーケティング等）<br/>〔経営戦略策定担当、研究開発者等〕</li> <li>・営業・販売（高付加価値）<br/>〔カスタマイズされた高額な保険商品の営業担当等〕</li> <li>・サービス（高付加価値）<br/>〔高級レストランの接客係、きめ細かな介護、アーティスト等〕</li> <li>・I T業務<br/>〔製造業におけるI o tビジネスの開発者、I Tセキュリティ担当者等〕</li> </ul> |

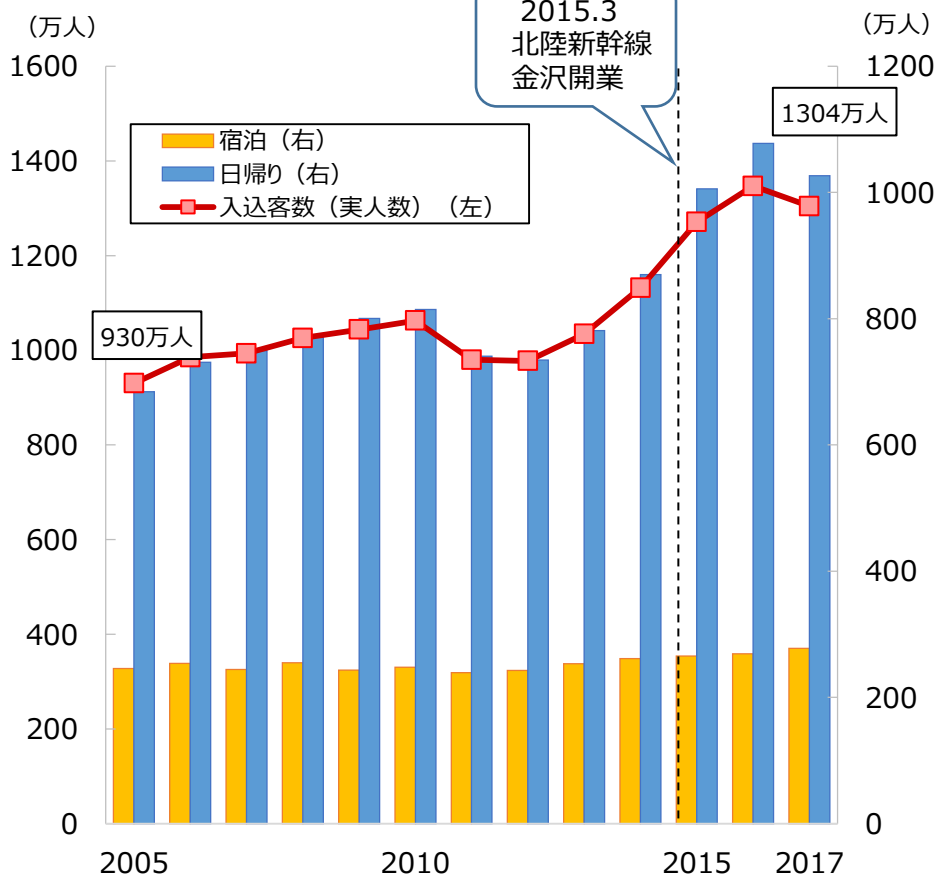
【技術革新が労働に与える影響（各研究報告等より抜粋）】

|                              |  |
|------------------------------|--|
| 野村総合研究所                      | 10～20年後に、日本の労働人口の約49%が、技術的には人工知能やロボット等により代替できるようになる可能性が高い（2015年）   |
| 三菱総合研究所                      | AI技術の普及により、2030年までに日本の従来雇用は740万人減少。一方で、雇用転換が実現できれば、AI等のシステム創造に関わる技術者や、それを活用した新たな製品・サービス提供の従事者など、500万人の新たな雇用が創出される（2016年）     |
| 新産業構造ビジョン<br>(H29.5経産省取りまとめ) | 2015年度から2030年度にかけて、AIやロボットなど技術革新をうまく取り込まなければ従業者数が735万人減少するが（現状放置シナリオ）、技術革新を活かした産業の新陳代謝を進めれば従業者数の減少が161万人にとどまる（変革シナリオ）（2017年） |
| 経済協力開発機構<br>(OECD)           | 職業単位ではなくタスク単位でみると、大半のタスクが自動化される職業は約9%に過ぎず、太宗は職種の一部のタスクのみが自動化する<br>※アメリカ9%、日本7%、イギリス10%（2016年）                                |

## 2. 改定の背景：近年の環境変化 ③ 交流人口の増加

- 北陸新幹線金沢開業後に県内の観光入込客数は増加しているが、宿泊者数は横ばいの傾向が続いている。
- 全国では訪日外国人旅行者数は伸びており、政府は2030年までに6,000万人にする目標を設定。
- 2022年度に北陸新幹線が敦賀まで開業、同時期に中部縦貫自動車道の県内全線開通を目指している。

【観光入込客数】



※平成16年観光動態調査に基づく数値を用いた推計

【福井県観光客入込数 (推計) (福井県)】

【国の観光にかかる目標】

|                   | 2015年<br>(実績) | 2017年<br>(実績) | 2020年<br>(目標) | 2030年<br>(目標) |
|-------------------|---------------|---------------|---------------|---------------|
| 訪日外国人旅行者数         | 1,974万人       | 2,869万人       | 4,000万人       | 6,000万人       |
| 訪日外国人旅行消費額        | 3.48兆円        | 4.41兆円        | 8兆円           | 15兆円          |
| 地方部(※)での外国人延べ宿泊者数 | 2,514万人泊      | 3,266万人泊      | 7,000万人泊      | 1億3,000万人泊    |

※三大都市圏(東京、神奈川、千葉、埼玉、愛知、大阪、京都、兵庫)以外の道県  
【「明日の日本を支える観光ビジョン」、宿泊旅行統計調査(観光庁)】

【外国人延べ宿泊者数】

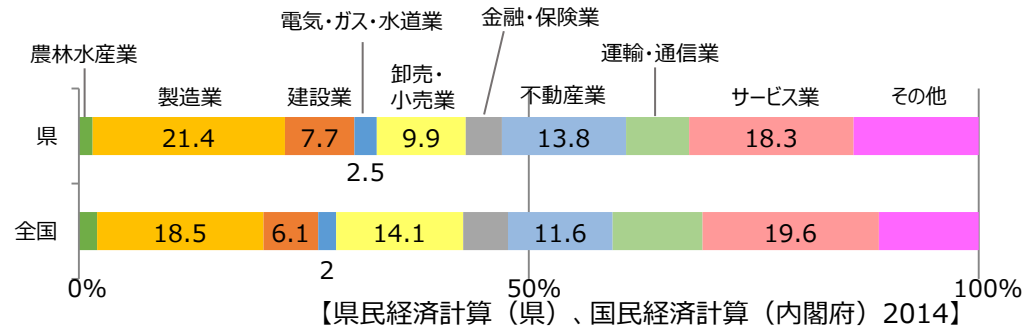
| 全国      | 富山県               | 石川県               | 福井県                      |
|---------|-------------------|-------------------|--------------------------|
| 7,967万人 | 287,720人<br>(31位) | 777,240人<br>(19位) | <b>61,160人<br/>(46位)</b> |

【宿泊旅行統計調査(観光庁)】

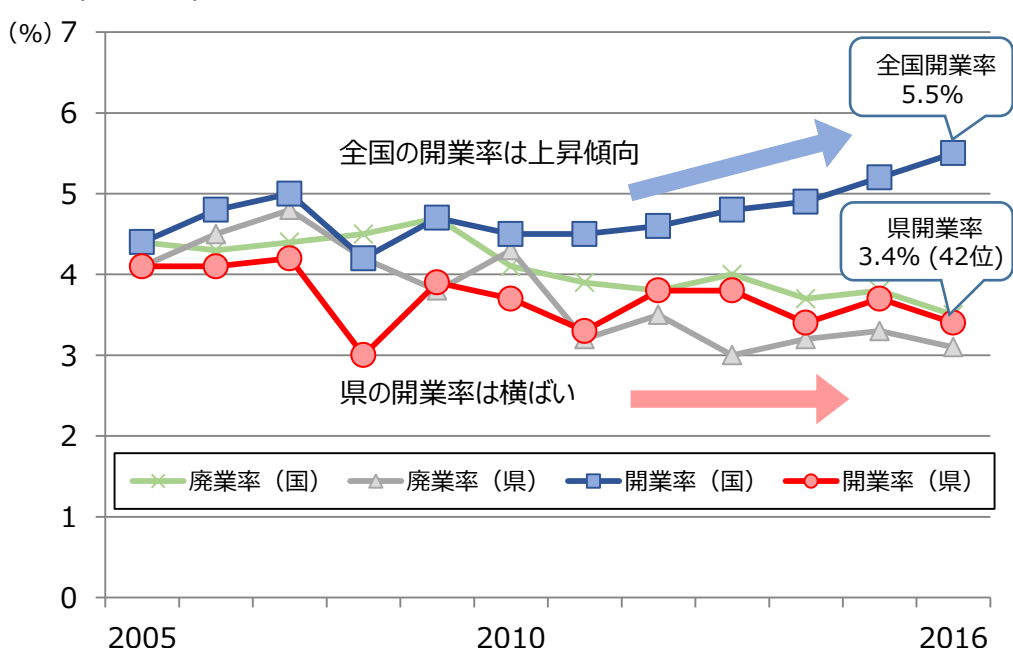
# 3. 県内産業の現状と課題

- 県内産業は全国に比べて製造業の割合が高く、電子・デバイス、繊維等が牽引。
- 地場産業である繊維、眼鏡は従業員数が多く雇用の受け皿となっているが、労働生産性が低い。
- 開業率が全国平均よりも低く伸び悩んでいる。

【県内総生産】



【開業率・廃業率の推移】



【雇用保険事業年報（厚生労働省）から算出】

【製造業の付加価値額、従業員、労働生産性】

○福井県の製造業各業種の状況

| 産業分類    | 付加価値額 (億円) | 従業員数 (人)    | 労働生産性 (万円/人)      |
|---------|------------|-------------|-------------------|
| 電子・デバイス | 1,689(21%) | 10,361(14%) | 1,630             |
| 繊維      | 1,034(13%) | 15,952(22%) | <b>648</b>        |
| 化学      | 877(11%)   | 3,643( 5%)  | 2,407             |
| 電気機械    | 711( 9%)   | 3,388( 5%)  | 2,098             |
| プラスチック  | 509( 6%)   | 4,796( 7%)  | 1,061             |
| 輸送機械    | 420( 5%)   | 4,248( 6%)  | 989               |
| 眼鏡      | 263( 3%)   | 4,184( 6%)  | <b>629</b>        |
| 合計      | 8,101      | 72,469      | <b>1,118(28位)</b> |

○参考：全国および他県の製造業

| 都道府県 | 付加価値額   | 従業員数      | 労働生産性        |
|------|---------|-----------|--------------|
| 東京都  | 32,912  | 269,197   | 1,223(20位)   |
| 富山県  | 13,644  | 121,049   | 1,127(27位)   |
| 石川県  | 10,464  | 95,490    | 1,096(31位)   |
| 全国   | 980,280 | 7,497,792 | <b>1,307</b> |

※従業員4人以上の事業所が対象 【工業統計調査2016（経済産業省、県）】 5